

しあわせの村 理念を活かしたリニューアルを

北区のしあわせの村は、「神戸市民の福祉をまもる条例」のもと設立され、誰もが利用できる施設です。神戸市は、不動産会社など民間事業者が参加するサウンディング調査を行い、大規模なリニューアルを検討しています。民間企業の参入が村の理念を薄めることにならないのか懸念します。

朝倉議員は、神戸市として、参加事業者に対し理念に沿った提案を求めるべきと質しました。また、今年12月から休止する「たんぽぽの家」「保養センターひよどり」について、「利用者や市民が『困る』と声を上げてい

る。休止せずに検討するべき」と求めました。市は、「あくまで意見公募。すべて採用するわけでない」「(たんぽぽ、保養センターは)暫定的休止。今後の方向性を決定したものではない」などと答えました。

また、しあわせの村への市バス路線の廃止計画(中面参照)が出されています。村内の福祉施設利用者やその保護者のみなさんから「通えなくなる」と声が上がっています。朝倉議員は、バス路線の充実を求めるとともに、施設売却を前提とするようリニューアル計画は見直しを求めています。



議案反対討論する朝倉議員

久元市長は、「困っている方に、全て100%政府が責任を持って対応しなければいけないのは、共産主義社会の発想だ」「NPO、企業が社会貢献もしている社会において、一緒に連携しながらやっていくのが、日本の社会の常識だ」と、公的責任を放棄し、「自助共助」を押し付けています。

2027年度の神戸市予算は1兆円規模です。市民や中小業者への直接支援には背をむけたまま、都心三宮、ウォーターフロント、大阪湾岸道路、空港国際化など、巨大開発には巨額を注込む放漫財政。一方、市バス路線は大幅減便・廃止で市民サービスの後退、文化施設や体育施設、市営駐車場の使用料は軒並み値上げなど、物価高で苦しむ市民にはさらなる負担増を強いる緊縮財政です。

市民や中小事業者を助けるのは、「住民福祉の向上」である自治体本来の役割です。日本共産党市会議員団と朝倉えつ子議員は、みなさんの暮らしを応援する予算への転換を求めました。

イラン攻撃の即時中止を!

非核『神戸方式』を守れ!



3月6日、イラン攻撃の即時中止を訴え

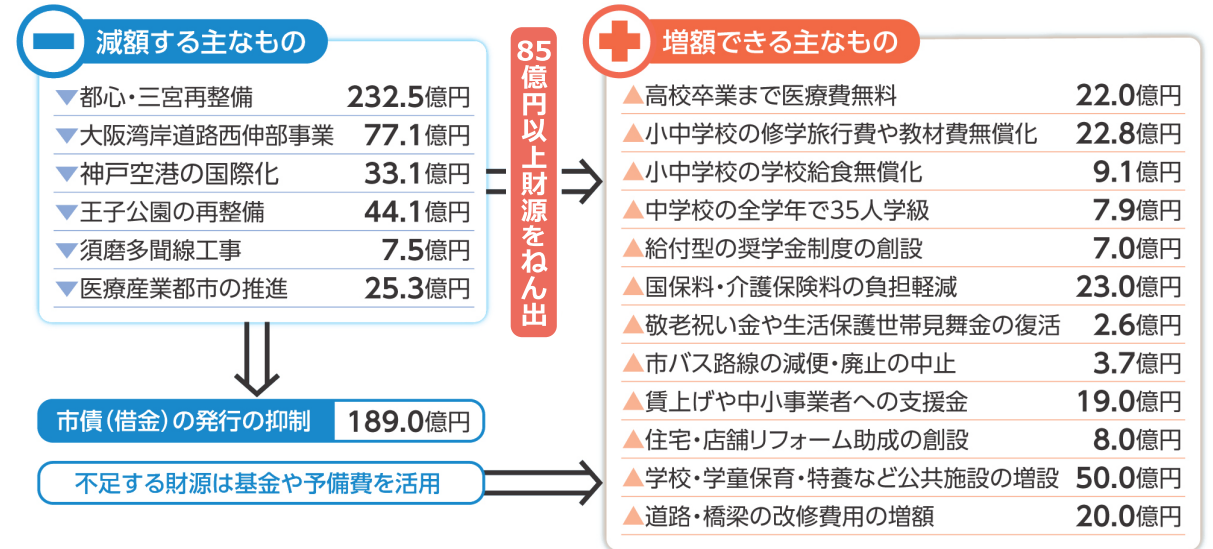


3.18非核『神戸方式』決議51周年宣伝に参加

公共の役割発揮し、困っている市民の暮らしこそ支援を

日本共産党の財政提案

2026年度神戸市予算組み替え提案



北神消防署へ格上げ 職員を増やし国の指針充足を

北消防署の北神分署が、2028年に「北神消防署」へと格上げされます。市は「消防



予算特別委員会消防局審査で質疑する朝倉議員

署の機能が果たせるよう、必要な体制は検討していきたい」といいますが、市全体の消防職員の体制は国の「消防力指針」からみれば、消防署所充足率は96,8%、人員充足率は92%と、まだまだ足りていません。朝倉議員は、北神消防署の開設に向け、積極的に職員を増やし指針の充足を求めました。



小学校給食無償化 みんなで食べるあたたかい中学校給食

みなさんの
願い
実現!

みなさんと一緒にとりくんできた学校給食無償化は、小学校給食無償化を実現させました。不登校の子どもたちや、フリースクールに通う子どもたちへも補助されます。引き続き中学校給食無償化へ頑張ります。



STOP! バス路線廃止・減便! バス路線充実へと声をあげましょう!



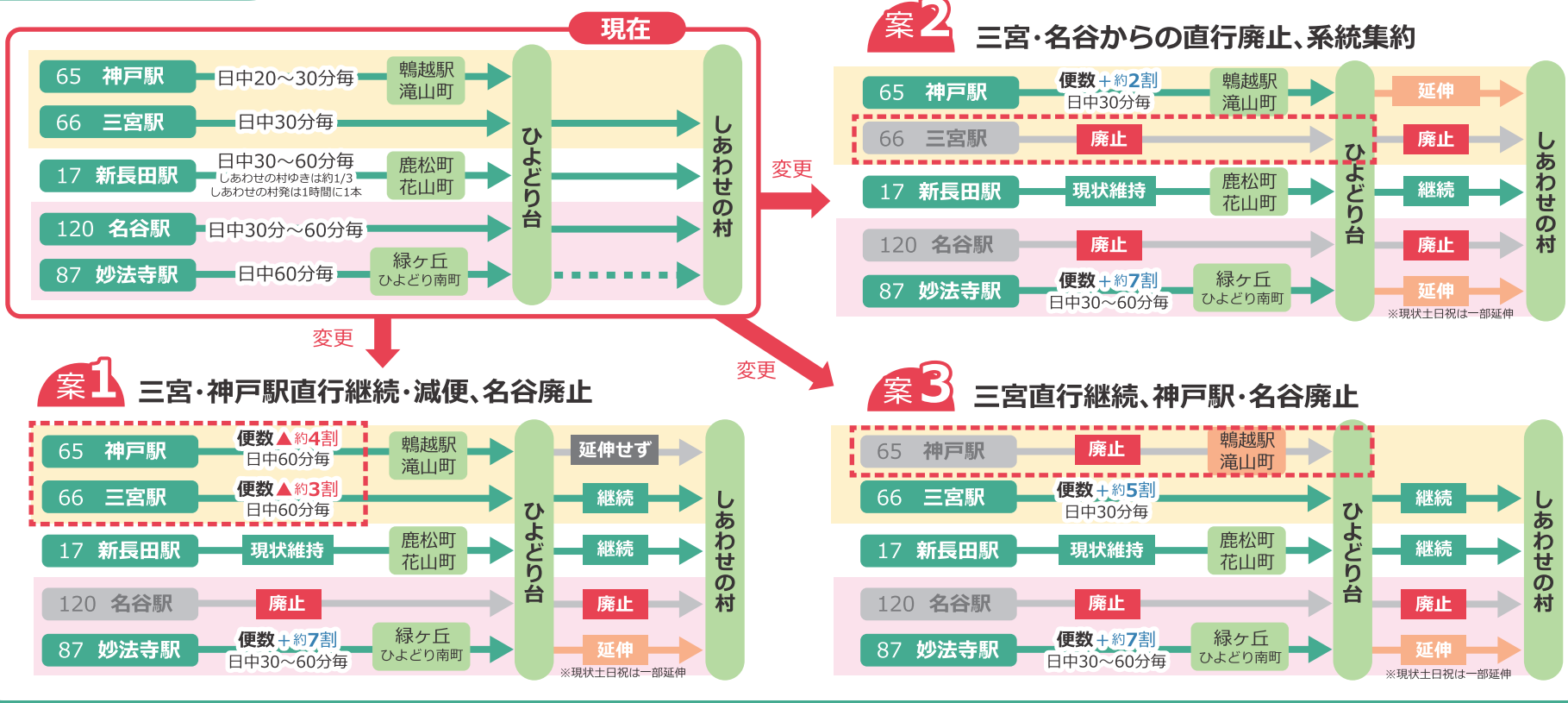
市は、今年4月の64系統の減便を皮切りに、市内46路線で運行本数の8%もの減便を行おうとしています。北区は、しあわせの村への路線を廃止しようとしています。

「バスしかない地域の路線まで。これでは暮らしていけない」と怒りの声が上がっています。

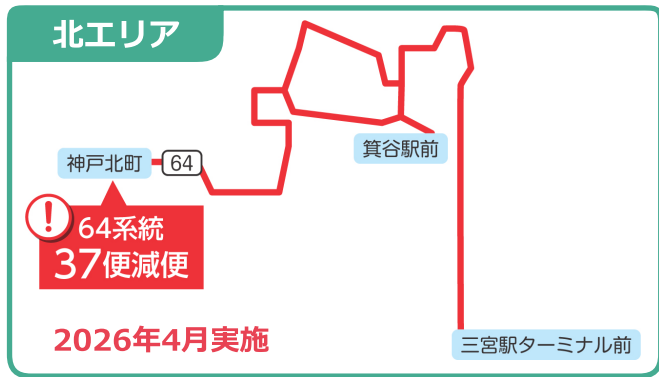
「極めて厳しい経営状況」と言いながら、交通局の2026年予算は2億4,200万円の赤字で、今後も赤字を見込んでいます。今すぐ減便廃止する根拠はありません。

市民福祉向上の自治体の役割を果たし市民の足を守れ!とご一緒に声をあげましょう。みなさんの声をお寄せください。

しあわせの村エリア 2027年4月実施予定 便数については未定



交通局お客様サービスコーナー
☎ 078-321-0484



ケア労働者 人員確保、賃上げに積極的な支援を!

人材不足と経営悪化により、神戸市内でも、毎年多くの介護事業所が閉鎖に追い込まれています。そもそも国が2024年度から訪問介護の基本報酬を削減したことが大打撃となっており、国が報酬改定を前倒しで引き上げても、全産業平均とはまだまだ格差があります。朝倉議員は、「処遇加算は要件が厳しく受けられない」「とにかく人手がなく、処遇改善申請実務が煩雑で手が回らず諦めてる」など、現場の声を紹介し、「報酬は国の責任」と言うだけでなく、市として思い切った処遇改善施策が必要だと求めました。

市は「指摘のとおり非常に重要」としつつ、「引き続き国に要望し、人材確保に努める」などと答えました。



予算特別委員会福祉局審査で質疑する朝倉議員

済生会兵庫県病院 統合移転予定地からヒ素検出 道路の渋滞や安全対策に懸念

済生会兵庫県病院の統合移転先とされる新病院の予定地は、田畑や小高い森が広がるエリアで、生物多様性や自然環境保全の観点から、神戸市長は三田市に対策を求める意見書を提出しています。また、病院職員や患者の車両増加により、朝ピーク時の大渋滞や、用地からはヒ素が検出されるなど、様々な問題が持ち上がっています。

福祉環境委員会には、「意見書に対する対応を全面的に履行できない場合は開発を許可しないことを求める」陳情が出されました。陳情審査では、与党議員も懸念を述べましたが、共産党以外

の全ての会派が、陳情は不採択としました。

建設防災委員会では、朝倉議員は、用地としてふさわしくないと質し、統合計画はいったん中止し、新病院建設は見直すべきと求めました。当局は、「協議していく」「まだ決定ではない」などと答えました。



建設防災委員会で質疑する朝倉議員